



だ い し っ 子

～青少年対策西新井地区委員会だより～

編集・発行

足立区西新井1-4-17

電話03-3890-4331

発行責任者 栗田泰夫

平成31年3月15日

第59号

青少年対策西新井地区委員会は、地域の町会・自治会・学校関係者等で構成された青少年の健全育成を目的に活動している団体です。

「足立工業高校の様々な取組について」



東京都立足立工業高等学校

校長 小堀 隆

本校は、創立五十六年目の工業高校です。総合技術科として入学後、二年生より機械加工・生産技術・電気システム・制御システム・情報コミュニケーションの五コースに分かれ、ものづくり人材の育成を行っています。

本校の様々な取組として、
(一)インターシップ(二)防災教育(三)オリパラ教育についてご紹介します。

◆(一)インターシップ

高卒者の離職率は四十%と言われています。勤労感を醸成し、社会人としてのマナーや厳しさを体験する貴重な機会であり、キャリア教育の一環として、二年生の七月に全員が三日間行っています。大学を除いて五十社以上の足立区内の企業に限定して受け入れていただいています。本業ではない生徒の受け入れに対して、「若い子がいると職場の雰囲気が変わってよかった」など嬉しい感想をいただける会社もあり、生徒達も初めは懐疑的だった者が終了後には成長して帰ってきます。一月三十一日に中山ライニングエ

業(株)様が長年のご協力に東京都教育委員会より表彰されました。

◆(二)防災教育

三年連続で東京都教育委員会主催の「合同防災キャンプ」に参加しています。八月に三泊四日の日程で東北の被災地を訪問して、震災遺構を見学し、農業や清掃など体験活動を行ったり、現地の高校生との交流活動を行います。また、参加者全員が「防災士」の資格を取得することも大きな目的で、本年度も教員二名、生徒九名が取得しました。十二月には、参加校を代表して報告会での発表も行いました。六町会避難所運営訓練では、五名の生徒が給水訓練などにも協力しました。これからも地域の防災活動に協力してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

◆(三)オリピック・パラリンピック教育

二〇二〇年東京大会まで一年余りとなりましたが、本校は二年前より「メダル協力BOX」の製作で協力をしてい

ます。携帯電話等の都市鉱山から金・銀・銅を回収してメダルを作る取り組みで、現在都庁二階に設置され、二月現在で十三万個以上が回収されています。



また、開会式までの日数を表示するデイカウンターも本校で製作しました。現在、足立区総合スポーツセンター一階に設置されています。このように、五十年に一回あるかどうかの歴史的イベントに工業高校としてもものづくりで貢献できることは名誉なことだと思います。



西新井地区の皆様には、毎年、「親と子のふれあいビーチボールバレー大会」の会場として本校を活用して頂き、「親と子のふれあい音楽祭」では、参加者の記念品としてキーホルダーも製作させて頂いています。これからも地域の高校として貢献してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

あの町この町

東京都住宅供給公社・興野町住宅自治会を歩いて

二月の肌寒い風吹くある日、広報部員女史と興野町住宅自治会の事務所へお邪魔し、吉野 博会長より自治会の行事・活動の様子を伺ってまいりました。その後、自治会内を散策しましたので様子をご紹介します。

この地区は、通称(A・B・C団地)と呼ばれ、A棟B棟C棟の区分けからなり、世帯数は約七百二十世帯余り。他の町会・自治会と同じ様にこの地区も高齢化・少子化の波を受け、居住区に於いては、虫食いの様相激しくポツポツと空き部屋が目立って来ているとのこと。各棟とも老朽化に伴い(A棟)の棟より建替え工事が始まり、現在の居住者は(B棟・C棟)への移動が進んでいるとのこと。その一角に、ひととき目立つ団地のシンボルとも言えます給水塔が目に入ります。



地面より大空に向かって望む景観は今風に言うインスタ映え。自治会活動に於いては



各住民の理解者が多く、月ごとの防犯パトロールや公園内の掃除・花壇等の手入れほか、先の東日本大震災後に災害対策部を立ち上げ、棟内の一部屋を借り、防災備蓄倉庫にしたり防災訓練・新聞発行など活発に活動しています。また中央公園内を利用して毎日ラジ体操を行い、親睦を深めながら八月には自治会員総出で盆踊りを開催し、子どもたちの太鼓も参加し近隣の子ども・家族も参加して、楽しみのひとつになっています。近年は外国人の住人も増え互いに住みやすい環境作りに協力を頂いているそうです。公園内には多くの樹木が育ち、四季折々の景観の中、木漏れ日を受けて楽しむ家族連れ、子どもたちの話し声に、のどかな休日の姿が在ると知らされ、春待ち遠しい自治会内の散策の一日でした。

地区対活動報告

第二十三回 親と子のふれあいビーチボールバレー大会

平成三十年十一月十八日（日） 足立工業高校 体育館

ビーチボールバレー大会
実行委員会

実行委員長 中田康博

今回も五十三チーム二百二十五名の参加があり、盛大に開催することができありがとうございました。会場をお借りした足立工業高校、又大会運営に関わった関係者の皆様のご協力のもと無事終了することが出来ほっとしている所です。来年度もさらにより良い大会になる様、実行委員会で話し合い頑張っていきたいと思ひます。多数の皆様の参加をお待ちしております。



今回で二十三回目を迎えました。参加五十三チーム、総勢二百二十五名により熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。



☆子供（男子・女子）チーム

◇優勝

NOBカタクリ

◇準優勝

SKYH（島根小学校）

◇第三位

NOBチョッパーズ

（緑・西新井・中央他）

☆大人混成チーム

◇優勝

NOBエース

◇準優勝

NOB緑牛

（緑・西新井・中央他）

◇第三位

NOB赤犬

（緑・西新井・中央他）

☆大人男性チーム

◇優勝

NOBジャッジ

（緑・西新井・中央他）

◇準優勝

NOBサンジ

（緑・西新井・中央他）

☆大人女性チーム

◇優勝

NOBハンコック

◇準優勝

（緑・西新井・中央他）

◇雪見だいふく

（第十中学校）

◇第三位

NOBナミ

（緑・西新井・中央他）

☆ファミリーチーム

◇優勝

NOBコピー

（緑・西新井・中央他）

◇準優勝

NOBプリン

（緑・西新井・中央他）

☆220歳以上チーム

◇優勝

NOB黄猿

（緑・西新井・中央他）

◇準優勝

NOB藤虎

（緑・西新井・中央他）



【青少年のよい行いをほめたたえる活動】

『善行青少年顕彰式』

平成三十一年二月十七日（日）

「善行青少年顕彰式」を終えて

実行委員長 近藤真理子

本事業は、青少年の健全育成活動の一環として、地域社会でよい行いをした青少年に対しその行いをほめたたえ、青少年が自主性を発揮し、良識ある社会人として成長するよう希望を与え勇気づけることを目的に実施しているものです。

平成最後の年、西新井区民事務所管内の町会・自治会長、学校長、PTA会長、青少年委員、青少年育成団体代表者、スポーツ推進委員より推薦いただき、審査により受賞者を決定いたしました。受賞者の皆様おめでとうございました。当日は、お天気に恵まれ、来賓の皆様から激励の言葉をいただきました。



西新井地区の町会・自治会・学校等からご推薦いただき、審査により受賞者を左記のとおり決定し、西新井区民事務所において顕彰式を執り行いました。受賞者の皆様おめでとうございます。

《個人》（敬称省略）

西新井第一小学校

田野入 香羽

《団体》（順不同、敬称省略）

西新井小学校児童有志

（西小合同避難所訓練参加・運営協力九十四名）

西新井小学校代表委員会

（あいさつ運動十八名）

西新井小学校児童有志

（親子ふれあい農園管理二十名）

西新井第一小学校代表委員一同

（西一小ボランティア感謝の会十四名）

栗原小学校合唱団

（栗原小学校合唱団五十七名）

西新井中央町会

オリオン子ども会

（町内美化活動等五十一名）

西新井中央町会子供太鼓

（水野介護老人保健施設にて演奏等二十名）

栗の実子ども会

（栗の実子ども会育成事業八名）

栗の実大成子ども会

（栗の実大成子ども会育成事業十八名）

西新井第二小学校

卒業生有志

（西二まつり運営協力十七名）

第五中学校生徒有志

〔五団体〕

（第五中避難所運営訓練参加・運営協力二十五名）

西新井本町住区センター

子ども夏まつり運営協力十二名

（西新井本町住区センターまつり運営協力二十五名）

第五中学校親子ボランティア

運営協力八十名

（第五中学校ハピフェス運営協力二十名）

西新井中学校吹奏楽部

（大師行燈まつり演奏七十二名）

西新井中学校バドミントン部

（西一小「ふれあい祭り」運営協力二十四名）

西新井中学校卓球部

（西一小「ふれあい祭り」運営協力七名）

西新井中学校生徒有志

（西新井住区センターまつり運営協力十名）

《広報実行委員会》

実行委員長 西村秀彦

柴田美奈子 岩片善男

吉岡成子 中田実

大和田信一 森岡裕子

小林松美 安藤由起子

宮本清 中田雅之

山下友美